



11月の園だより

令和4年11月1日
目黒区立中町保育園園長

先月、4・5歳児クラスが大型バスに乗って芋掘り遠足へ行ってきました。子どもたちは、初めての体験にドキドキワクワクした表情で土を掘り始め、さつま芋の頭が見えると「あったーおいも、見て、おっきいよ」と目を輝かせていました。掘ってもなかなか抜けないと「根っこがいっぱい」と土の中の様子を観ながら根気よく掘り、たくさんつながった芋が取れると「いっばいついてた、6人家族だー」と嬉しそうに6本が離れないように大事に袋へ入れていました。その後、広い農園で楽しみにしていたお弁当を食べ、畑周辺を散歩しながら遊んできました。



帰園後、さつま芋を事務所前のテラスで並べていると、自然体験を満喫してきた子どもたちは興味津々で5歳児クラスに“干すと甘くおいしくなる”という話をしたところ、翌日から干す手伝いをしてくれています。朝から重いダンボール3箱分を子ども同士で声を掛け合い、保育室から運んできて丁寧に並べ、また夕方にはダンボール箱に戻すことを進んでやってくれ頼もしい限りです。4日目の朝、並べた後に1人の子どもが「数えてみようか」と言うと、一緒にいた子どもたちも「そうだね」とさつま芋を指さしながら「1本、2本、3本…100、えーすごい、まだあるよ、101、102…174、174本だ」と自分たちで集中して数え、さつま芋の多さに驚いているのと同時に自分たちで掘ってきたさつま芋をみんなで食べられる日を心待ちにしているようでした。

今月の焼き芋会は、5歳児クラスが中心となって2・3・4歳児クラスと一緒にさつま芋を洗い、アルミホイルで巻く準備をしていきます。毎年異年齢で行い、受け継がれている活動です。当日はみんなで焼きたてをおやつで味わいたいと思います。

寒暖差が大きく、体調を崩しやすい時期です。健康面には留意して過ごしていきたいと思います。

行事予定

焼き芋会	歯科検診
身体計測	避難訓練



運動会にご参加いただきありがとうございました。

子どもたちは日頃取り組んできたことを十分に発揮することができ、みんなの笑顔があふれる一日となりました。

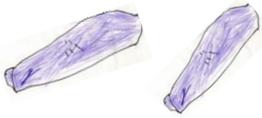
保護者の皆様からたくさんの感想をいただきましたので一部をご紹介します。

初めての運動会は、とても楽しかったようで、お家に帰ってもザリガニチョッチンを踊ったり、余韻に浸っていました。大勢の人の前で、堂々と楽しそうにダンスをしたり、かけっこをしたりする姿を見て、とても成長を感じました。(3歳児)

恥ずかしそうにしながらも、一生懸命走ったり踊ったり跳んだり…見ていて微笑ましく感じられる場面がたくさんありました。いただいた金メダル、1日付けていました！大きな自信にも繋がったと思います。(4歳児)

保育園最後の運動会がグラウンドで開催出来て嬉しかったです。子どもたちのパワーあるダンスやかかけっこなど、一生懸命練習してきた事など思い出しました。どれも可愛くて目が離せなかったです。とても素敵な思い出になりました。(5歳児)

子どもたちが、友達と協力しながら頑張る姿に成長を感じました。アンコールしたいくらい、とっても素敵な運動会でした！(5歳児)



戸外遊びの様子



もも組（0歳児）

『 ボールまてまて 』

テラスに出るとボールを見つけ、それを取りに行こうとハイハイで向かっていきます。一緒に遊ぼうと保育士も「まてまて」と後ろから追いかけていくと「キャハハ」と笑いながら嬉しそうに進んでいきます。目当てのボールを手にとると、保育士を見て“いくよ”というように笑いながらポンと投げるので再び「まてまて」と追いかけると、さっきよりも速いスピードでハイハイして行きました。次に保育士がボールを持つと、“くるぞ、くるぞ”というようにワクワクした表情でこちらを見ている。そのやりとりが楽しくて広いテラスのあちこちを保育士と一緒にボールを追いかけて遊びました。また、長いトンネルを設定すると「あー」と中へ入って行き、中で待っています。保育士が「みつけた」とトンネルを覗くと嬉しそうに笑いながらハイハイで逃げていきます。これからも、それぞれの発達に合った遊びを考え、子どもたちが楽しみながら体を動かす遊びを積み重ねられるようにしていきたいと思います。

たんぼぼ組（1歳児）

『 落ち葉を拾って 』



保育士がベンチの上に葉を並べて置くと、子どもたちはすぐに気が付き「はっぱ」「いっぱい」などと言葉にしながら手に取ります。どんな遊びを始めるか見守っていると、砂を入れた皿の上に、葉をさして立てる子どもがいました。隣で遊んでいた子どもは葉が立ったことに気が付き「はっぴばーすでー」と歌い始め、葉を口ウソクに見立てたようでした。歌声につられて周りの子どもも手拍子をし、楽しい誕生会が開かれていました。ベンチの上の葉が足りなくなると、バケツを持って自分で集めに行く子どもも出てきました。何枚かたまったバケツを保育士に見せに来て「いっぱい」と笑顔です。「たくさん集めたね」と保育士が声をかけると「ばいばい」と再びお出かけに行く友達を見て、“自分も”とバケツを手にして追いかけていく子どもが増え、数人で葉っぱ集めをしていました。

この季節にしか見られない自然物にたくさん触れて遊びながら、子どもの発見や喜びに共感し戸外遊びを楽しんでいきたいと思います。



ちゅうりっぷ組（2歳児）

『 自分のバックを持ってお散歩へ 』

かばんに、たくさんの物を詰めて散歩や買い物ごっこを楽しむ子どもたちの姿を見て、秋の探索用にバッグを作ることにしました。絵を描いたり、シールを貼って作ったバッグを持って、早速油面公園に行ってみました。「これに何入れる?」「いっぱい入れようね」と友達と話しながら期待に胸躍らせて歩いています。公園に着くとたくさんのドングリが落ちていて「先生見て!」と見せてから、大事そうに自分のバッグに入れています。「帽子がついてる」「これは服を着てるみたいだよ」と、ドングリの殻が付いているものも見つけました。「ちっちゃいのもあるよ」「赤ちゃんみたい、かわいい」と枝に付いた小さなドングリも見つけて喜んでいます。夢中で集めて、保育士や友達にお互いのバッグの中身や量を見せ合っている子どももいました。自分専用のバッグを持っていく嬉しさと共に、今後は少し距離を延ばして中央緑地公園まで歩き、ドングリ探しや探索遊びをさらに楽しんでいきたいと思います。

